



■米国・欧州

自動車の売上が横這い

米国の自動車の04年売上は、大方の改善の期待を裏切り、03年とほぼ同レベルに留まる見込みである。8月までの売上台数は前年同期比で0.2%増加した。スタンダード・アンド・プアーズ社によれば、04年の売上台数は前年の1,660万台に近づくものと予想される。一方、欧州の04年の売上台数は横這いで、価格は弱含みと予想される。

フロイデンベルク・ノンウーヴンズ社は、04年下半期の米国自動車業界の生産量を5~8%減少と見ているが、同社北米事業の生産量は前年同期比ではほぼ同レベルを維持する見込みであると述べた。同社は自動車用カーペット基布の世界最大手メーカーで、今後の自動車業界の低迷は、同社事業に悪影響を与えるという。

不織布業界は、自動車用カーペット基布のほかに、運転席・エンジン・トランクの仕切り素材も生産している。INDAによれば、03年は3億4,200万㎡、金額では2億4,500万ドルの不織布が米国の自動車業界に販売された。

■北米

PB2社が紙おむつ市場に新規参入
プライベートレーベル・マニュファクチャラーズ・アソシエーションが

行ったトレードショーで、北米プライベートレーベル市場に、ベビー用紙おむつメーカー2社が新規参入し、2社が事業を拡張することが発表された。

カナダのアーヴィング・パーソナルケア社は、カートGジョア社の加工ラインを使用し、11月から紙おむつの出荷を開始した。アーヴィング社はアホールド・スーパーマーケットチェーン用紙おむつ“コットンテール”や他の小売店向け紙おむつ“プチ・パス”を生産している。また、同社はその他2社とも契約を交わし、第1四半期にはさらに4社と販売契約を締結する予定である。

03年1月にメキシコの紙おむつメーカー、グルポ・マーベ社と米国のワイパーメーカー、ロックライン・インダストリーズ社が提携して設立されたヴァロール・ブランズ社は、国際的な顧客リストを共有し、リストには米国のスーパーバリュー社、IGA社などが含まれている。

また、ホスベコ・パーソナルケア・プロダクツ社は、第1四半期に米国とカナダの顧客に高級紙おむつ、トレーニングパンツを提供していく。さらに、アークエスト社もTVアニメのキャラクターを使った最高級紙おむつを展開している。

■トレデガー・フィルム・プロダクツ社(米国)

R&Dセンターを移転

トレデガー・フィルム・プロダクツ社は、北米の2カ所のR&D技術センターを閉鎖または縮小し、ヴァージニア州の新センターへグループを移転すると発表した。また、同社はアルゼンチンのフィルム事業を国内のフィルムメーカー、プラスター社に売却した。売却額は不明。プラスター社は現在、サンタリー・農業・工業用途のフィルムを生産している。

トレデガー社は、新R&D設備の着工

前に40名の従業員を雇用し、パイロットラインを少なくとも1ライン設置する予定。移転は05年末までに完了の予定。同社はリストラにより20名を解雇し、営業経費を年間約200万ドル削減する計画。これにより、イリノイ州の事業から撤退し、インディアナ州の事業を縮小する。

同社は、リストラ経費として、事業停止・移転費用550万ドル、今後使用しないR&D関連設備の資産減損費用100万ドル、合計約650万ドルを計上している。また、同社は約250万ドルを投じ、新技術センター設備・借地を改良する計画である。

■キンバリー・クラーク社(米国)

北米でPBワイパーを販売

キンバリー・クラーク社は、プライベートレーベル・マニュファクチャラーズ・アソシエーションのトレードショーで、北米で初めてプライベートレーベルのワイパーを販売すると発表した。

同社はこうした製品をすべての顧客に提供するわけではなく、優良な戦略的顧客で、この分野のリーダーに対してだけ、製品を提供していくという。

同社は、プライベートレーベル、企業ブランドワイパーを、市場牽引役のエアレイド“コットネール”や新規展開中の“スコット・モイスト”と統合したいと考えている。また同社は、成長目標を達成し、戦略的に顧客との関係を築くためには、企業ブランドの確立が不可欠だと考えている。同社は5月にオランダで行われたPLMAショーで新製品を公にしている。また、すでにティッシュとトレーニングパンツの企業ブランド製品を提供している。

■ダン・ウェブフォーミング・インターナショナル社(デンマーク)

市場の供給過剰で人員削減

近年、エアレイド業界の成長は鈍化

indexos

4月12～15日、 スイス・ジュネーブで開催

米国のIDEA、アジアのANEXと並ぶ世界の3大不織布展のひとつであるINDEX05が、4月12～15日スイス・ジュネーブで開催される。

日本不織布協会では、同展の視察旅行を催行する。また工場見学としてリーター・パーフォジェット社、フィンカルデ社、ライフェンホイザー社な



会場となるGENEVA PALEXPOと機械メーカーに加え、成長著しいペガス社（チェコ最大の不織布メーカー）が予定されている。

問合せ先

(株)インセンティブ・松村氏

TEL06-6543-8875 FAX06-6543-8856

E-mail:incentiv@bb.mbn.or.jp

し、設備メーカー、ダン・ウェブフォーミング・インターナショナル社と姉妹会社のダン・コア・インターナショナル社の両社は苦戦を強いられている。

03年以降、2社の従業員数は35名から22～25名に削減され、最近では、中国でのテクニカルアシスタント、プロジェクトマネージャのほか、管理部門の2名が削減された。

同社では、現状を企業のスリム化と再編成において通常のこととしてとらえている。過去5年、同社では世界中で12の主要エアレイドラインのうち、10ラインの販売実績があるが、03年に5プロジェクトが完了し、業界に必要な生産能力が行き渡ったため、新設備の発注が途絶えてしまった。

エアレイド生産ラインは、01年、02年に急激に需要が増加し、エアレイド製紙おむつ吸収体がフラッフパルプ製に替わると思われたが、そうした予想は外れた。

現在、同社の顧客は、新設ラインを使用し、フィルターメディア、食肉用パッド、その他の食品用パッケージ、ウェットティッシュ、女性用サニタリー製品、テーブルクロスなどを生産している。

なお、生産能力の増設分に需要が追いつくには1年はかかるとみられ、世界でもっとも活気のある中国市場でさえも3～6か月はかかると思われる。

■ハルトマン・グループ（ドイツ）

全世界で6%の人員を削減

ドイツのサニタリー・医療製品販売、ハルトマン・グループは、全世界で6%の人員削減を行い、改善の兆しのない収益低下に歯止めをかけようとしている。

同社は問題のあるドイツの医療保険システムの変革を非難している。同社によれば、医療市場での販売条件に劇的な変化があり、同社の売上、収益が急激に落ち込んだ。04年10月現在で、全体の収益は明らかに低下したという。

また、04年最終期以降、市場は何ら改善の兆しを示していない。これに対し、失禁製品に対して初めて導入された固定還付金という保険制度のさらなるカットで、上位製品メーカーの売上見通しも暗くなっている。

同社が6月に発表した04年の年初来5ヵ月間の売上報告によれば、前年同期比で6%低下し、5億900万ユーロとなった。

コスト削減のため、06年末までに全世界9,500名の従業員のうち600名を削減する計画である。

人員削減の80%はドイツが対象で、本社で約120名が削減される。また、同社は、これまでの戦略を変更し、主力の医療製品事業に集中するためのリストラ策を考えている。

■中国

04年成長率が2年連続9%超す

中国国家统计局は、04年の国内総生産（GDP）が実質で前年比9.5%増えたと発表した。ビルや工場などの建設投資が牽引する形となり、9.3%だった03年に続き9%を超える高成長となった。

政府は引締め策に乗り出しているが、過熱気味の中国経済が安定成長へ軟着陸できるかどうかは不透明だ。資源を非効率に浪費する体質も改まっておらず、引き続き世界のエネルギー市場の波乱要因となりそうだ。

04年のGDPは13兆6,515億元（約170兆円）。伸び率を四半期ごとにみると、1～3月期が9.8%、4～6月期が9.6%、7～9月期が9.1%。10～12月期も9%台だったとみられる。中国政府は04年の経済成長の目標を8%前後に設定していた。

伸び率が高まったのは、高水準の投資が成長を引っ張る構図が変わっていないためだ。年間を通した固定資産投資の伸びは25.8%。政府がビルや工場などの建設ラッシュに歯止めをかけた結果、1～3月期の43%と比べると伸びは鈍化した。企業や地方政府の投資意欲はなお強く、投資熱がおさまったと見ることはできない。（日経1/25）

人口が13億人に

中国で人口13億人目になる男の赤ちゃんが1月6日未明、北京市の病院で誕生した。国家统计局の調査で04年末の推計人口は12億9,988万人となっており、同年の1日平均人口増が約2万人のため6日に誕生した最初の赤ちゃんを13億人目と認定した。（日経1/7）

04年の乗用車販売は約230万台

中国商務省が発表した04年の同国の乗用車販売台数は、232万6,500台、前年比15.2%増となり、03年の75.1%増から大幅に減速した。日系メーカーではホンダが健闘した。（日経1/14）